

- 問1 11世紀末、ローマ教皇が呼びかけたことにより、イスラム勢力の支配下にあった聖地を奪還する目的で結成されたキリスト教諸国の軍隊と、その目的地の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 宗教改革軍 — パチカン 2. 十字軍 — エルサレム 3. 十字軍 — メッカ 4. レコンキスター — エルサレム
- 問2 源頼朝が幕府を開いた鎌倉は、防御に適した地形を利用して都市が築かれました。三方を山に囲まれ、南が海に面したこの土地において、外部との交通路として山を切り開いて設けられた通路を何と呼びますか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 宿場 2. 関所 3. 切通し 4. 本陣
- 問3 承久の乱の後の幕府と朝廷の関係の変化について、六波羅探題の役割を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 幕府は朝廷と協力して政治を行うため、話し合いの場として京都に新しい機関を作った。 2. 幕府は朝廷の権威を認め、政治の全権を天皇に返還するために監視役を置いた。 3. 幕府は九州地方の防衛を強化するため、京都を拠点として地方の武士を指揮した。 4. 幕府は朝廷の動きを監視し、西国の武士への統制を強めることで、支配力を全国に広げた。
- 問4 1180年に源頼朝が石橋山の戦いで敗れて安房（千葉県）に渡り、そこから再起して鎌倉幕府を成立させた歴史的背景を踏まえ、その約40年後に起こった承久の乱が日本の政治体制に与えた影響として、最も適切な説明はどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 幕府が朝廷に対して圧倒的な優位に立ち、全国的な支配権を確立する契機となった。 2. 朝廷が幕府の力を認める代わりに、都を鎌倉から平安京へ移すことが決定した。 3. 上皇が政治の実権を握る院政という仕組みが初めて導入されるきっかけとなった。 4. 朝廷が軍事力を取り戻し、幕府を廃止して天皇親政による建武の新政を開始した。
- 問5 1192年に源頼朝が征夷大將軍に任命され、鎌倉幕府が本格的に始動した時期の出来事について述べた文として正しいものはどれですか。幕府が全国の荘園や公領に設置し、土地の管理や年貢の取り立てを行わせた役職名を含んだものを選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 幕府は地頭を設置し、現地の土地管理や年貢の取り立て、治安維持を担わせた。 2. 幕府は六波羅探題を設置し、西日本の荘園における年貢の徴収を直接指揮した。 3. 幕府は守護を設置し、全国の荘園ごとに年貢の取り立てを細かく管理させた。 4. 幕府は侍所を設置し、全国の公領における土地の測量と年貢の割り当てを行った。
- 問6 12世紀末から14世紀前半にかけての日本の状況について述べた文として、時代背景が正しく説明されているものはどれか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 土農工商の身分制度が確立され、200年以上にわたる鎖国政策が実施された。 2. 平城京を中心に、大陸の文化や仏教の影響を強く受けた貴族文化が栄えた。 3. 公家を中心とした政治から、土地の仲介などを通じて武士が実権を握る政権へと移行した。 4. 鉄砲の伝来やキリスト教の布教により、戦国大名による全国統一の動きが加速した。
- 問7 日本の歴史における時代区分のうち、弥生時代や平安時代などの「古代」と、江戸時代を指す「近世」の間に位置する区分を何と呼ぶか。この区分には、武士による政治が本格化した鎌倉時代や室町時代が含まれる。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 原始 2. 戦国 3. 近現代 4. 中世
- 問8 中世の日本の文化に関する説明として、鎌倉時代の事実について正しく述べたものを次の中から選びなさい。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 運慶や快慶らによって、東大寺南大門に力強い金剛力士像が制作された。 2. 足利義満によって、公家文化と武家文化が融合した北山文化が栄え、金閣が建立された。 3. 足利義政によって、禅宗の影響を受けた東山文化が栄え、銀閣に書院造が取り入れられた。 4. 禅の精神を表現するため、石や砂で自然を表現する枯山水の庭園が多く作られた。
- 問9 鎌倉時代後半、元寇（蒙古襲来）による軍役の負担や分割相続の影響で、多くの御家人が生活に困窮しました。幕府がこうした御家人を救済するために、彼らが売却・譲渡した領地を無償で取り戻させることを命じた法令を何といいますか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
1. 公事方御定書 2. 徳政令 3. 御成敗式目 4. 武家諸法度
- 問10 日本の歴史の時代区分において、「中世」に含まれる時代の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 明治時代と大正時代 2. 鎌倉時代と室町時代 3. 飛鳥時代と奈良時代 4. 安土桃山時代と江戸時代
- 問11 室町時代の絵巻物には、琵琶という楽器を弾きながら各地を巡り、物語を語り聞かせる「琵琶法師」の姿が描かれています。彼らによって語り継がれ、平氏一族の繁栄から滅亡までの過程を力強い和漢混交文で描いた軍記物語の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 源氏物語 2. 太平記 3. 保元物語 4. 平家物語
- 問12 中世の文化において、『平家物語』などの軍記物語が、琵琶法師らによって全国へ広められた理由や背景として、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 文字の読み書きができない民衆に対しても、語り物という形式をとることで物語の内容を伝えることができたから。 2. 田植えの時期に豊作を祈る伝統的な行事である「田楽」と結びつき、農村部でのみ急速に普及したから。 3. 禅宗の教えを視覚的に広めるための手段として、水墨画の技術とともに武家社会の教育として流行したから。 4. 平氏の功績を称え、朝廷の権威を民衆に広く知らしめるための幕府による国策として推奨されたから。
- 問13 鎌倉時代に大陸から伝来した禅宗が、当時の政治の担い手であった武士の間に広く普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 自らの精神を鍛え、悟りを目指すという厳しい修行のあり方が、武勇や規律を重んじる武士の気風に適していたから。 2. 和歌や蹴鞠といった公家文化を否定し、武士独自の新しい娯楽を提供することに主眼を置いていたから。 3. 大規模な寺院を建立することで、領地を治める武士の権威を農民に示すのに最も都合が良かったから。 4. 念仏を唱えるだけで極楽浄土へ行けるという簡潔な教えが、文字の読み書きに慣れていない多くの武士に歓迎されたから。
- 問14 13世紀後半、元との戦い（元寇）での恩賞が不十分だったことや、貨幣経済の浸透によって、多くの御家人が領地を質に入れたり売却したりして生活が困窮しました。こうした御家人を救済することを目的として、1297年に鎌倉幕府が出した法令を何といいますか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 公事方御定書 3. 永仁の徳政令 4. 武家諸法度

答え合わせ・解説

問1	答え 2 十字軍 — エルサレム	11世紀末、セルジューク朝（イスラム勢力）の進出によって脅かされた東ローマ帝国からの要請を受け、ローマ教皇ウルバヌス2世がキリスト教の聖地エルサレムの奪還を呼びかけました。これに応じて組織された軍隊が十字軍です。メッカやメディナはイスラム教にとっての聖地であり、今回の奪還目標ではありません。
問2	答え 3 切通し	鎌倉は北・東・西の三方を険しい山に囲まれ、南側が相模湾に面しているという、防御に適した「天然の要塞」のような地形をしていました。この閉ざされた地形において、軍事的な防衛力を維持しながら物資の運搬や人の往来を可能にするため、山の一部を削って造られた狭い道が「切通し」です。鎌倉七口と呼ばれる代表的な通路などが知られています。
問3	答え 4 幕府は朝廷の動きを監視し、西国の武士への統制を強めることで、支配力を全国に広げた。	承久の乱までは、幕府の支配力は主に東日本を中心としていましたが、乱の勝利をきっかけに、京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視下に置きました。これにより、幕府が朝廷に対して政治的に優位な立場となり、支配力が西日本まで及ぶ大きな転換点となりました。
問4	答え 1 幕府が朝廷に対して圧倒的な優位に立ち、全国的な支配権を確立する契機となった。	源頼朝が安房で再起し鎌倉に本拠を置いて以来、武家政権は東国を中心に発展してきましたが、承久の乱で朝廷側に勝利したことで、幕府は上皇を流罪にするほど強い権力を持つに至りました。この結果、日本全国に幕府の影響力が及ぶ武家政治の時代が決定づけられました。
問5	答え 1 幕府は地頭を設置し、現地の土地管理や年貢の取り立て、治安維持を担わせた。	鎌倉幕府を樹立した源頼朝は、朝廷から設置の許可を得て、全国の荘園や公領に「地頭」を配置しました。地頭は軍事的な役割だけでなく、現地の責任者として年貢の徴収や土地の管理を行う権限を与えられていました。これにより、幕府の支配力が全国の土地に及ぶようになりました。なお、国ごとに置かれ軍事・警察を担ったのは「守護」であり、荘園ごとに置かれた地頭とは役割と設置単位が異なります。
問6	答え 3 公家を中心とした政治から、土地の仲介などを通じて武士が実権を握る政権へと移行した。	鎌倉時代は平安時代と室町時代の間に位置する武家政権の時代です。1200年前後からの約140年間は、それまでの貴族中心の政治から、將軍と御家人の主従関係に基づく武士中心の社会へと大きく変化した時期にあたります。
問7	答え 4 中世	日本の歴史を大きな流れで捉えた際、鎌倉幕府の成立から室町幕府の滅亡（または安土桃山時代の終焉）までの期間は「中世」と定義される。これは、天皇や貴族が政治の中心であった古代と、兵農分離が進み幕藩体制が確立された近世を繋ぐ時代であり、武士が社会の主導権を握り始めたことが大きな特徴である。
問8	答え 1 運慶や快慶らによって、東大寺南大門に力強い金剛力士像が制作された。	鎌倉時代の彫刻は、武士の好みに合わせた写実的で力強い表現が特徴です。運慶や快慶は、東大寺南大門の金剛力士像を作り、その作風を確立しました。金閣は北山文化、銀閣や枯山水は室町時代後期の東山文化に関連するものであり、鎌倉時代の特徴とは異なります。
問9	答え 2 徳政令	鎌倉幕府は御家人の生活を支える基盤である領地（土地）を守るため、永仁の徳政令を発令しました。これは借金の担保として手放した土地を無償で返させるという強力な経済救済措置でしたが、結果として金銭の貸し借りが困難になり、社会経済を混乱させる原因にもなりました。
問10	答え 2 鎌倉時代と室町時代	日本の「中世」は、一般的に鎌倉幕府が成立した時期から、室町幕府が滅亡し戦国時代が終結するまでの時期を指します。この時期は武士が社会の主役となり、封建的な主従関係が築かれたことが大きな特徴です。飛鳥・奈良時代は「古代」、江戸時代は「近世」、明治以降は「近代」に分類されます。
問11	答え 4 平家物語	鎌倉時代から室町時代にかけて、武士の活躍や戦乱の様子をテーマとした「軍記物語」が数多く制作されました。その代表作である平家物語は、文字を読めない庶民の間にも、琵琶法師による語り（平曲）を通じて広く普及しました。源氏物語は平安時代中期に紫式部によって執筆された物語、太平記は南北朝時代の動乱を描いた軍記物語です。
問12	答え 1 文字の読み書きができない民衆に対しても、語り物という形式をとることで物語の内容を伝えることができたから。	『平家物語』は、「諸行無常」という仏教的な思想を背景にした軍記物語です。琵琶法師が琵琶の伴奏とともに語るスタイルは、文字の読み書きが一般的ではなかった当時の民衆にとって、耳から物語を理解し楽しむための非常に効果的な手段でした。そのため、特定の階級に限らず、都市や農村の幅広い層に物語が浸透する要因となりました。
問13	答え 1 自らの精神を鍛え、悟りを目指すという厳しい修行のあり方が、武勇や規律を重んじる武士の気風に適していたから。	禅宗は、座禅を通じて自己の精神を律し、強靱な精神力を養うことを重視しました。これは常に死と向き合い、戦場での冷静さや自己規律を必要としていた武士の生き方と非常に親和性が高かったのです。そのため、鎌倉幕府の執権であった北条氏など、多くの有力な武士が禅宗を保護し、その普及を後押ししました。
問14	答え 3 永仁の徳政令	元寇の防衛戦は恩賞となるべき獲得領土がなかったため、幕府は戦費を負担した御家人に十分な賞与を与えることができませんでした。生活苦に陥った御家人が手放した領地を取り戻させることで、幕府の軍事力の基盤である御家人体制を維持しようと試みたのが永仁の徳政令です。